

令和5年度 「生徒による鎌学トライアルテスト」 試験問題

国語

(時間二十五分)

〔注意事項〕

- 一 試験開始の合図まで開けてはいけません。
- 二 受験番号・氏名を解答用紙に記入しなさい。
- 三 試験問題は五題あります。印刷がはつきりしなかったり問題が抜けていた場合は申し出なさい。
- 四 解答は解答用紙に記入しなさい。
- 五 解答用紙と問題用紙はどちらも回収しない。

★ この問題は二〇二三年十二月一日実施の「生徒による鎌学トライアルテスト」用に、生徒広報の生徒が鎌倉学園中学校の入試問題の形式を踏襲して作成した模擬問題です。試験問題の内容は入試本番の試験問題の内容とは一切関係ありません。

次の――線部のカタカナを漢字に直して答えなさい。

- 1 読書にヨネンがない。
- 2 自分の名前をトウロクする。
- 3 全員にフンキをうながす。
- 4 毎月の会費をオサめる。
- 5 明日の天気をアヤぶむ。

次の□に漢字一字を入れて対義語の組み合わせを完成させなさい。

- 1 本音――□前
- 2 収入――□出
- 3 抽象――□体
- 4 受動――□動
- 5 苦手――□手

次の空欄（ ）の中に入ることわざとして、最も適切なもの

を選択肢ア～キの中から1つ選び、記号で答えなさい。また、選んだ選択肢のことわざの抜けている□の部分に入る漢字を一字答えなさい。ただし、不要な選択肢が一つある。

例 そんなこと、できっこない。（ ）だよ。

↓選択肢…キ 漢字…階

- 1 あなたの車と私の車は（ ）ほど違う。
- 2 君がお菓子作りを失敗するなんて（ ）だね。
- 3 他人の問題だからわざわざ（ ）ことはしなくていいよ。
- 4 彼は常に（ ）慎重な人だ。
- 5 （ ）。高い道具を買わなくても、努力すれば上手になるよ。

【選択肢】

- ア 石□をたたいて渡る
- イ □とスッポン
- ウ 対□の火事
- エ 弘法□を選ばず
- オ 火中の栗を□う
- カ かつばの川□れ
- キ 二□から目薬

四

次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(字数指定がある問いに答える場合、句読点・かぎカッコ等の記号は一字として数えること。)

「いいんだよ。お前が正しいと思うことをやってみな。」これは私が小学生のときにある一人の先生から言われたことである。明確な動機はわからないが、私が自分から積極的に人をまとめる立場を務めるようになったことや、自分なりのやり方を考え、それを実践しようと思ひ始めたひとつの要因はこれのように感じる。わかりやすく言えば自分で物事を考え、それを行動に移すことのきっかけを与えてくれた言葉だ。

自分で考え、行動に移すことは、自分らしさを見いだすことや突然起こったことに対して冷静に正しい判断を下せるようになることにつながる。

ところが近年、特に若者において自分自身で物事を考えず、行動にも移さないことが多くなっているように感じる。²その原因は一体何なのだろうか。

原因の一つとして考えられるのはインターネット社会の目まぐるしいほどの発展だ。その中でも、私が特に影響を与えたのではないかと思っているのは検索の簡易化である。今ここに、初めて出会った意味の分からない言葉があるとする。その意味を調べたい時、昔は分厚く重い辞書を用いて地道にその意味を検索するか、語句に詳しい先生や専門家などに聞くしか方法がなく、手間も時間もかかった。しかし現在はスマートフォンやパソコンなどをใช้ในการことで、早ければ5秒ほどでその言葉の意味を調べることができてしまう。それは、自分が今どのよう

な行動をとればいいのかわからないときも同様である。突然グループのリーダーに任命されて困ったとき「グループ 人まとめ方」などとネットで検索をすれば誰でも簡単に完璧なリーダーになれるらしい方法がたくさん出てくる。その魔法のような方法をほとんどの人が真似をして³みんな一様に統一された行動をすることは容易に想像ができるだろう。

確かに、わからないことをすぐに調べられることは素晴らしい、凄まじい速度で時が流れる現代社会においては欠かせないものであると言える。だが、わからない物事を前にした際、何も自分で考えることをせずに皆が同じ説明を読んで同じ行動を取っているのは、人間にとって欠かせない財産である個性を失い続けることに他ならない。

さらに、¹技術の発展も原因の一つと言えるだろう。

「AI」すなわち「人工知能」は、現代社会のいたるところに応用され存在している。多くの人が所持しているスマートフォンやパーソナルコンピュータなどにはほぼ必ず²機能が搭載されており、最近では冷蔵庫などの身近な家電にまで³の技術が応用されている。それに加え、現在日本で深刻化している労働力不足の問題を解消するためにも、⁴技術はすでに大きな役割を担い始めている。このようにAI技術には多くのメリットが存在する一方で、今貴方に特に伝えたいのはデメリットである。これまで、人間の知能を超える可能性があるというものも存在せず、人間が最高の知能をもつことに他ない世界であった。よって新たなものを作り出したり想像したりするには人間の知能を使うという選択肢以外なかったのである。しかしAIは、今まで最高かつ不可侵であった人間の知能の立場を脅かし

始めているのである。命令をすれば可能な範囲でそれに従順に従い、知識量で人間に負けることなく、最近では新たなものをハイオリティで創造することさえ可能になった。人間は極力楽をしようとする生物である。これにより、人間が自分で考えて行動に移すという作業をしなくなるのも不思議ではない。

しかし、これでは良くないということは皆さんよくおわかりだろう。そしてそれと同時に先程挙げたものに代表される技術は今の社会を生きる上で、我々にとって欠かすことができないものとも言える。では、これらの技術をどのように使っていくべきなのだろうか。

大切になってくるのは、自分の能力と便利な技術の割合を行動に移す前に考慮することだろう。「これは自分でやると余計な時間がかかってしまうからAIに任せよう」、「この仕事は自分の力でもできそうだから自分でやってみよう」といったように考えるべきだと思う。

その判断材料として「クリエイティビティさ」があるか、というものが挙げられるだろう。この基準を用いることで人間が自分自身で考えることから、行動に移すまでのプロセスを自然と取ることができる。

様々な技術であふれるこの社会を人間らしく生活するためには、それらの便利な技術が我々にどのような影響を及ぼすのかを理解しなければならぬ。貴方自身が想像して創造したもののほど人間らしく、かつ素晴らしいものは他にない。

(三浦 歩季 『考えるを考える』)

問一——線部1「自分自身で物事を考えず、行動にも移さない」とあるが、それと反対の意味を表す部分を、文章中から十七字で抜き出して答えなさい。

問二——線部2「その原因」とあるが、筆者は何が原因だと考えているのか。その考えを説明した文として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 検索の簡易化によって、これまで不可能であった未知の物事を調べることが可能になり、技術の発展によって本来人間がやるべきことをによって奪われてしまったことで、特に若者の創造力が大きく損なわれたから。

イ 検索の簡易化によって、今までよりも格段に未知の物事を簡単に調べられるようになった上、今まで人間にしかできなかったことも技術の発展により可能になったことで自分から進んで何かをする必要性が低くなったから。

ウ インターネット社会が大きく広がったことにより物事の検索方法はやや複雑化したもののより多くのことを調べられるようになった上、技術による高度な創造が可能になったことで人間が自分から行動する必要性がなくなったから。

エ インターネット社会が大きく広がったことにより検索をする事自体が非常に簡単になり、技術によってこれまで人間には不可能とされてきたハイオリティな創造を簡単に成功させたことで、人間の想像する力が衰えたから。

問三 — 線部3について次の各問いに答えなさい。

(1) この言葉の言い換えとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 均一な行動をする

イ 画一的な行動をする

ウ 意識的な行動をする

エ 平凡な行動をする

(2) この行動をすること、筆者はどのようになると述べているか。それについて説明した次の文の I、II、IIIに入るところを、指定された字数にしたがって本文中からそれぞれ抜き出して答えなさい。

まるで I (二文字) のような方法を多くの人が真似するところで、我々にとって必要不可欠な II (二文字) という III (二文字) を失い続けてしまう。

問四 — 線部4について、筆者はなぜそのように考えているのか。その理由を文章中の言葉を使い六十文字以内で答えなさい。

問五 この文章全体を通して筆者が読者に伝えたいことは何か。それを説明した文として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 人間はできるだけ楽な生活を送ることを常に求めるため、新たなものを作り出すことや大変なことを人工知能などの技術に任せることで、我々はより人間らしく現代社会を生きることができだ。

イ 現代社会に存在する便利な技術で解決できることは、それらの技術をできる限り活用して解決するなど、便利な技術を用いる能力を身につけることがこの現代社会を生きるために求められる。

ウ 便利な技術で溢れている現代社会を人間らしく過ごすためには、新たなものを作り出すという工程をおこたらず、便利な技術の利点と欠点を理解した上で利用していく必要がある。

エ インターネット技術などの発達によって検索が簡易化されたが、検索の仕方や結果が誰が同じになるわけではないため、人々の考え方や行動が統一されてしまうということは考えにくい。

五

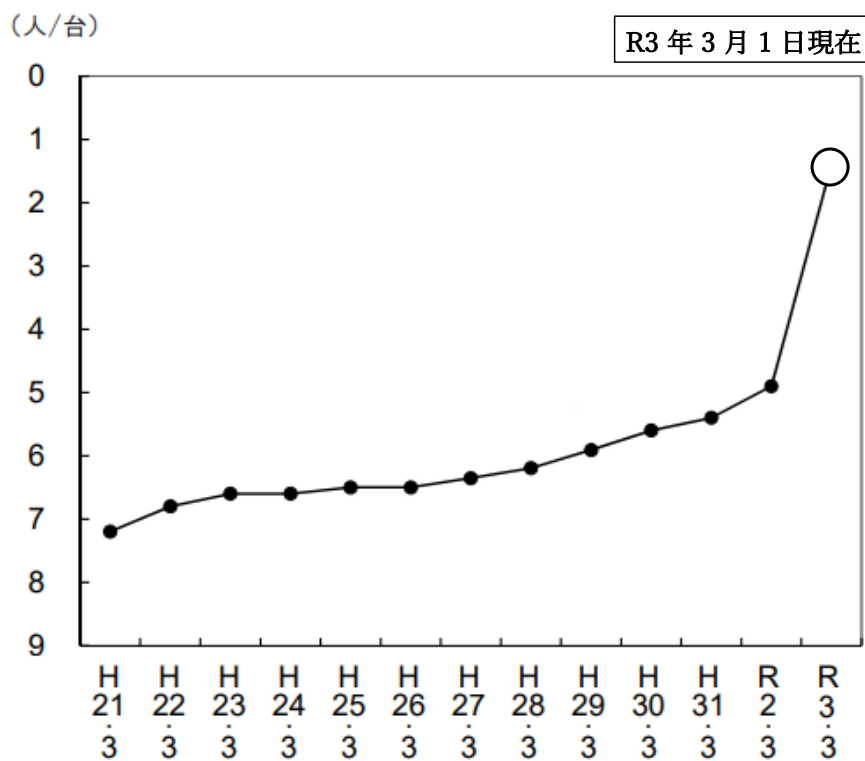
次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(字数指定がある問いに答える場合、句読点・かぎカッコ等の記号は一字として数えること。)

【文章A】

日本の小学校において、2020年からプログラミング教育が必修化されました。それに次いで2021年には中学校で、2022年には高等学校でもプログラミングの授業が必修となりました。近年、世界はIT技術の発展によりどんどんと便利になっており、私たちの身のまわりはプログラミング技術を基盤とするIT技術にあふれています。この社会におけるプログラミングの働きを理解するために授業の必修化が行われました。これに伴い、全国各地の小・中・高それぞれの学校における教育用コンピュータの台数が急激に変化しています。このことがよくわかるグラフが(グラフ1)です。

グラフ1からは、1ということが読み取れます。特に、R2・3からR3・3にかけての変化はとても激しいことが見て取れます。このように、学生でもコンピュータを用いて実際にプログラミングを行うということが身近になっていきます。学生の頃からこのような技術に触れておくことで、多くの若者に対してその人にとっての新たな将来の職業の選択肢を与えるきっかけにもなるとも考えられるでしょう。

教育用コンピュータ1台当たりの 児童生徒数



グラフ1

【文章B】

プログラミング教育の必修化は、実は他の目的もあります。それがプログラミング的思考を育むというものです。

プログラミング的思考とは、目的を達成するために最も効率が良いものを選択することを指します。プログラミングをする上で、いかに少ない手順で目的にたどり着くかということは非常に重要な考え方の一つです。この考え方を日常生活に取り込んでいくことによって、自分の身の回りのことを効率的に進めることができると考えられます。例えば、ある学校に合格することを目指している場合、どのような順番で勉強を進めていけばいいのか、そして今何をすべきなのかを明確に見えてくるのです。

このように、プログラミングを学ぶことで、非常に身近な場面で我々の生活をより快適にすることも可能になると考えられます。特にとっさの判断力が求められるこの時代において、効率的に物事を進めるために最適な手段を考えることは必要不可欠なことであり、身につけるべきもののなのです。

皆さんも、今、志望校に合格するために頑張っていると思います。合格するためにはどうすれば良いのかを逆算してみると良いのかもしれない。

問一 日本におけるプログラミング教育において、【文章A】・

【文章B】から読み取れるものとして最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 若い人の将来の職業の選択肢を広げることが、プログラミングの授業が必修化された理由の一つである。

イ 実際にプログラミングの能力をつけるだけではなく、日常生活においてもその考え方を応用できると考えられる。

ウ プログラムの授業を受けることによって、この授業を受けることでしか身につけることのできない新たな思考を身につけることができる。

エ プログラムの授業の必修化によって初めて学校の教育用コンピュータが設置され始め、学生にも身近な存在となった。

問二

1

の中から選び、記号で答えなさい。

ア 学校に通う生徒の人数が直近で急激に少なくなる傾向にある

イ 教育用コンピュータの設置の数の割合が、減少する傾向にある

ウ R3・3では、一、二人で一台の教育用コンピュータが使える

エ 毎年、生徒によるインターネットへのアクセス回数が増加している

